

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌(暫定版)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フィネス福住ガーデンシティ フロント	階数	地上10F
建設地	札幌市豊平区月寒東1条15丁目34	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	186人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年11月 竣工	評価の実施日	2014年9月29日
敷地面積	2,475 m <sup>2</sup>	作成者	廣田真実
建築面積	872 m <sup>2</sup>	確認日	2014年10月6日
延床面積	5,612 m <sup>2</sup>	確認者	石川克彦



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.6**

★:★★★★★ A:★★★★ B:★★★ B:★★ C

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	74%
③上記+②以外の	74%
④上記+	74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・「エネルギーの使用の合理化に関する法律」を新基準(H25基準)で取得し、「低炭素建築物新築等計画認定」を取得するなど、外皮性能の向上・省エネ効果の高い設備機器の選定などにより一次エネルギーの抑制し省エネルギー対策を行っている。	<b>その他</b> ・「札幌市都市景観条例」に適合しています。 ・「札幌市福祉のまちづくり条例」に適合しています。 ・全住戸分の駐車スペースの確保、適切な自転車置場の確保をしています。	
<b>W (Global Warming) 省エネルギー・省資源</b> ・低炭素建築物新築等計画認定を取得し、日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を満たす程、省エネルギー対策を充実させている。 ・効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。	<b>G (Green) 緑化</b> ・基調となる樹種は、耐陰性・耐寒性のある常緑針葉樹を用い、冬の緑量確保に配慮している。	<b>S (Snow) 雪処理</b> ・敷地内車路・通路をロードヒーティングとし、冬季間の除排雪作業の軽減に努めています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される